

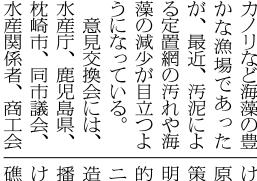




意見交換の様子



講演する本部長



意見交換会を開催した。

鹿児島県枕崎市は、2月16日午後3時から枕崎漁港内の枕崎市水産センターで、「枕崎港周辺海域における磯焼け状況について」の意見交換会を開催した。

枕崎漁港は、特定第3種漁港の指定を受けている全国有数の遠洋かつ漁業基地であり、また日本で初めて開港した漁港である。周辺海域はアジやサバ等の青物やトサカニアなど海藻の豊かな漁場であったが、最近、汚泥による定置網の汚れや海藻の減少が目立つようにならっている。

意見交換会には、水産庁、鹿児島県、枕崎市、同市議会、水産関係者、商工会が参加した。意見所の関係者など約80名が参加した。

冒頭、瀬戸口嘉昭枕崎市長が磯焼けに対する対策を紹介された。その後、意見交換会では、磯焼けの原因や対策などを議論した。

意見交換会では、磯焼けの原因や対策などを議論した。

## 豊かな漁場をめざして 枕崎市で磯焼けに関する意見交換会

（社）福岡県漁港漁場協会（会長・森勘一）は、2月13日午後1時30分から福岡市内の博多サンビルズホテルにおいて、水産庁漁港漁場整備部および福岡県農林水産部水産局漁業管

理課、水産振興課の協力

（後援）の下、「第22回

福岡県市町水産関係幹部職員研修会を開催した。

この研修会は、県内市

町の漁港漁場関係幹部職

員を対象とした研修会で

あり、今回は市町の幹部

職員を対象とした研修会で

あり、今回も市町の幹部

職員を対象とした研修会で

</